

第48号

令和6年3月1日

富山県砺波農林振興センター
農業農村整備広報・広聴連絡会議
〒939-1386 砺波市幸町1番7号
電話(0763)32-8124【指導課】

となみ野水と里通信

☆砺波農林振興センター
管内の情報を
ホームページで発信中!!
<https://www.pref.toyama.jp/1633/r5tonaminourin.html>



ブログやっています。
“とやま水と里探訪ブログ”
で検索を!
<http://facebook.com/toyama.nousonsebi>



令和5年度砺波管内農地林務優良工事表彰式

令和5年12月26日(火)に砺波管内農地林務優良工事表彰式(写真)を砺波総合庁舎において開催しました。

令和4年度に完成した県営(500万円以上3,000万円未満)・団体営工事を対象として、優良な工事の施工者を表彰するものであり、土地改良部門で4件(県営・最優秀賞1件・優秀賞1件、団体営・優秀賞1件・良賞1件)が受賞されました。

また、県営(3,000万円以上)工事を対象とした、富山県建設優良工事等表彰式が令和5年12月21日(木)に富山県民会館において開催されており、当管内から土地改良部門で4件(知事賞1件・農林水産部長賞3件)が受賞されています。



令和5年度砺波管内農地林務優良工事表彰式

受賞者 (土地改良部門)

- ・砺波管内農地林務優良工事表彰
 - (県 営) 最優秀賞 立野原建設(株)
 - 優秀賞 宮野建設(株)
 - (団体営) 優秀賞 根尾建設(株)
 - 良 賞 安達建設(株)

・富山県建設優良工事等表彰

- 知事賞 (株) 得能組
 - 部長賞 笹嶋工業(株)
 - 部長賞 (株) 福光組
 - 部長賞 北陸ハイウェイ建設(株)
- (砺波管内の工事を抜粋)

梅檀山地区でパートナーシップ協定を締結

県は、中山間地域の活性化を支援するため、中山間地域チャレンジ支援事業(地域住民だけでなく、地域内外の企業や団体の関係者が連携しながら行う取り組みを支援することにより、地域の維持・活性化を図る)の活用推進と併せ、中山間地域パートナーシップ事業(「農家や農村集落」と「企業・市民団体」がパートナーシップを組み、お互いが持っている資源や得意分野を活かすことで、都市農村交流の促進と地域活性化を図る)の取り組みを支援)を推進しています。

「上村農好会」は砺波市梅檀山地区の若者5名で組織し、耕作放棄地の有効活用に取り組むため、中山間地域チャレンジ支援事業を活用(令和3〜5年)し、「住民の話・輪・和(わ・わ・わ)」でつなぐ郷土の農地を蘇らせるプロジェクトを展開し、さつまいも・かぼちゃを耕作放棄地に作付けしています。

同地区で練習・合宿する「VC富山」(県西部小中学生のバレーボールチーム)がさつまいもの作業や料理教室を介して交流を深めたことを契機に、今後の活動継続に向けてパートナーシップ協定締結式(写真①)を開催し協定を締結(写真②)されました。



②締結書を交わす
上村農好会代表(右)とVC富山代表(左)



①パートナーシップ協定締結式

とやま帰農塾「五箇山塾」

とやま帰農塾「五箇山塾」が2月23日から25日の二泊三日の日程で、南砺市菅沼にある合掌の里コテージにて、首都圏、中京圏ほか、県内からの10名が参加し開催されました。

プログラムでは、1日目に菅沼集落の歴史や合掌造りの仕組みについて説明を受けながら、集落内を散策しました。2日目は、冬の寒さで甘味が増した「かぶ」を雪の中から掘り出す「寒甘野菜の掘レッキング」(写真①)やこきりこ民謡で使われる「ささら作り体験」を行いました。最終日には、地元で収穫された蕎麦を石臼で挽く体験(写真②)とその蕎麦粉で作る「蕎麦がき団子」のキノコ汁を堪能しました。

特に、こきりこの踊り(写真③上・下)を教わっているときは、時間が経つのを忘れて竹の打ち方、さらを使った踊り方について何度も講師の方に確認されました。

閉講式で塾長は、「直ぐに移住まで考えなくても、五箇山のサポーターになって欲しい」と言われました。今回参加の塾生さんだけに限らず、五箇山サポーターがさらに増えることを期待しています。



①寒甘野菜の掘レッキング



②蕎麦挽き体験(石臼)



③こきりこ踊りの練習

編集後記

新年を迎えた余韻に浸る間もなく、午後4時10分能登半島を中心に発生した地震。買い物最中、約1分間身動きできない初めての経験。直後に発信された大津波警報で、東北の情景が目に見え、だ。職場では被災情報を把握のために東奔西走しており、徐々に被害状況が明らかとなってきた。被災された方々には哀悼の意を込めつつ、今後一日でも早く被災前の生活を取り戻すために尽力したい。本年8月にはパリオリンピックも開催される。頑張れニッポンも含めてがんばれ北陸。(48号編集担当者記)

